

安心・安全なまち【暮らし】

◆子育て支援

今年度より第2期養老町子ども・子育て支援事業計画がスタートします。子育て中の親子が気軽に集える場所の確保のため、土曜日に船附こども園において園庭開放を実施するとともに、子育て情報をタイムリーに入手できるように、子育て応援サイト「ようろうっこ」にイベントカレンダー機能を追加し、母子手帳アプリとも連携します。また、少子化対策の一助として男性不妊治療費助成制度を創設します。



土曜園庭開放を実施する船附こども園

◆健康づくり

がんの早期発見のため、県が新たに取り組む胃がん対策強化事業費補助金を活用するなど、がん検診の受診率向上に努めていきます。さらに、今年度から小児がん患者ワクチン再接種費用やがん患者医療用ウィッグ購入費の助成を実施します。

国民健康保険事業については、生活習慣病の予防のため、メタボリックシンドロームに着目した特定健診を継続して行い、重症化による療養費の増加を抑制します。



健康づくり推進のため行われた健康フェア

◆地域福祉

日常生活圏域において、行政や保健・福祉等の関係機関と住民が一体となって支え合うこと

ができる地域の仕組み作り引き続き取り組むため、第3次養老町地域福祉計画を策定します。

◆高齢者福祉

10月31日から11月3日まで、本県において第33回全国健康福祉祭岐阜大会(ねんりんピック岐阜2020)が開催され、養老町では、ペタンク競技を担当します。全国各地より代表選手ら約500人を迎えることから、町ならではのおもてなしと選手関係者の競技環境づくりに努めていきます。

また、高齢化と介護給付費の急激な増加に適切に対応するため、町民の意識調査等に基づき、第8期養老町介護保険事業計画・老人福祉計画を策定します。



ねんりんピック岐阜2020リハーサル大会の様子

さらには、認知症への地域の理解を深めるため、従来の町民公開講座や認知症サポーター養成講座に加え、実践・参加型の認知症徘徊模擬訓練を行います。

◆障がい者福祉

障害者基本法等に基づき、障がいの有無に関わらず、相互に人格と個性を尊重し、共に支え合いながら暮らすことができ「共生」の実現に向け、町民の意識調査や計画策定部会の意見集約を行い、第3次養老町障がい者プランを策定していきます。

◆交通安全

高齢運転者の重大な交通事故が増し、深刻な社会問題となっていることから、75歳以上の高齢運転者を対象として、国土交通省が認定した後付け急発進等抑制装置の設置に要した経費の一部を補助することにより、高齢運転者の安全対策を行います。

◆消費生活

近年、多様化する詐欺行為から町民の財産を守るため、県関係機関と連携しながら西濃5

町で消費生活相談窓口を継続して開設するなど、消費生活の安定と向上を図っていきます。

◆防災対策

民間ブロック塀等の撤去等について一昨年度、国の住宅・建築物安全ストック形成事業において新たに創設された支援制度を活用し、建築物等耐震化促進事業の一環として引き続き補助を行っていきます。

治水対策事業については、国の直轄管理河川においては金草川合流部の樋門改修の早期完成や河道掘削などを、県管理河川においては津屋川改修工事や河道内の樹木伐採などを引き続き要望していきます。

また、昨年度、一部工事に着手した南直江地区の床下浸水対策としては、一日も早い排水ポンプ施設設置に努めていきます。砂防事業や治山事業としては、堰堤の設置を含め、各谷での適切で速やかな土砂撤去、砂防施設の維持修繕等を継続して県に要望していきます。